医療法人喬成会　花川病院　広報誌

つながる手と手

～はなかわからのメッセージ～

第３２号

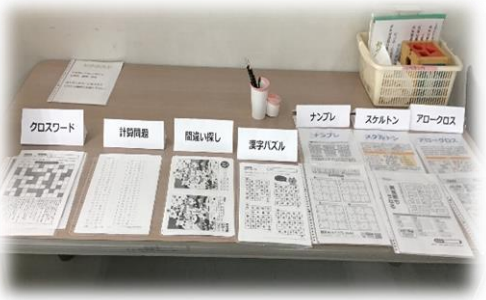
もくじ

●当院の施設スペースの紹介
●認定理学療法士全員合格しました
●第24回石狩リハビリテーション地域連携懇話会
●総務課の仕事・職員のご紹介
●お口で食べることは大事
●ボランティア活動・健康教室はじめました
●新入職員紹介

●令和４年９月21日発行　●発行人：菅沼　宏之　●編集長：金子　宏美　●企画・製作：花川病院地域連携相談センター
医療法人喬成会花川病院　〒061-3207　石狩市花川南７条５丁目２番地　代表電話（0133）73-5311
花川病院ホームページ　http://kyouseikai.jp/

当院の施設スペースの紹介

◆脳トレ　スペースの紹介



回復期リハビリテーション病棟の患者様は１日のうち２～３時間リハビリテーションを実施します。しかし、感染対策の兼ね合いもあり、リハビリテーションの時間以外は自室で過ごす時間が多いのが現状です。そこで当院では作業療法士が中心となり病棟内のホールを活用し、患者様が脳トレ等のアクティビティを実施できるスペースを用意しています。当院の脳トレスペースにはクロスワード/ナンプレ/記号問題/計算/間違い探し/漢字パズルスケルトン/アロークロスといった様々なプリントを用意しています。その他にもトランプや囲碁といったゲームや読書、塗り絵、ネット手芸、編み物等も行えるようになっており、患者様の趣味や嗜好に合わせた余暇活動を過ごせるように工夫しています。

◆スペースの活用について

脳トレスペースについてはリハビリテーション時間外の活用はもちろんですが、作業療法内でのアクティビティとしても活用しています。下記の興味関心チェックリストという評価用紙を使用し、趣味嗜好を患者様が選択しやすくなるように工夫しています。評価用紙をきっかけに患者様の昔話や趣味等でお話が盛り上がることも少なくありません。

患者様が退院後もアクティビティを継続し、QOL（生活の質）が向上するようにこれからも工夫していきたいと考えております。

活動名	興味あり 強い	興味あり 少し	興味 無し
1.園芸野菜つくり			
2.裁縫			
3.ラジオ			
4.散歩			
5.俳句・川柳			
6.踊り			
7.歌をきく			
8.歌を歌う			
9.ペット			
10.講演会			
11.テレビ・映画			
12.知人訪問			
13.読書			
14.旅行			
15.宴会			
16.相撲			
17.野球			
18.掃除・洗濯			

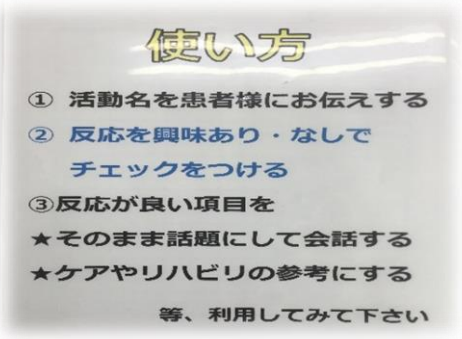


図　興味/関心チェックリスト（左）と使い方（右）

（作業療法士　さいとう）

認定理学療法士全員合格しました

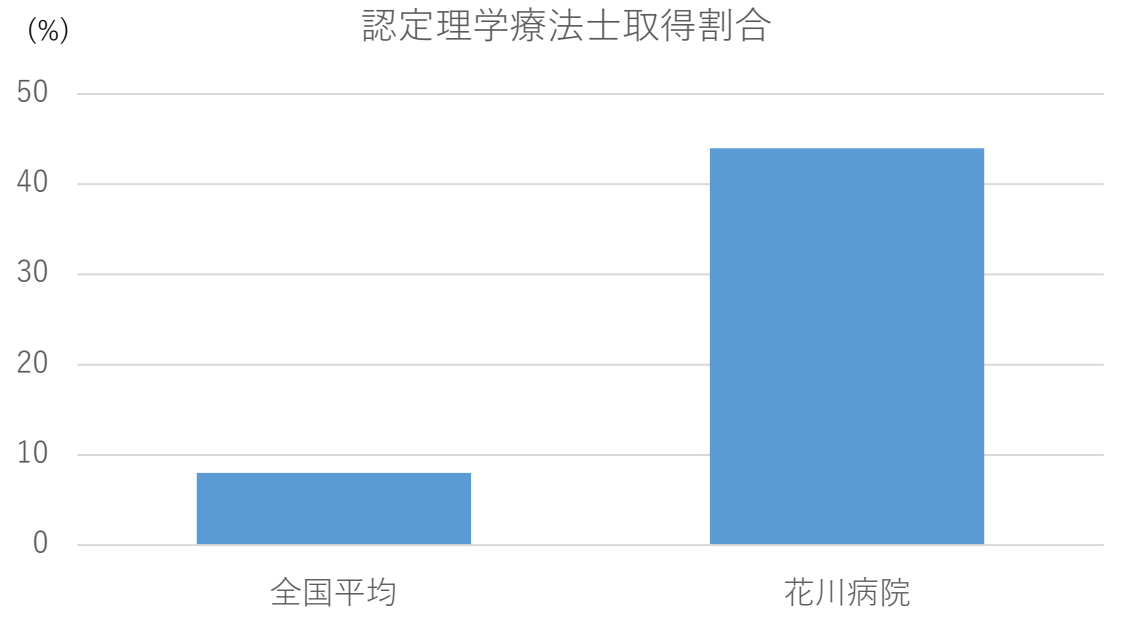
リハビリテーション部門には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と大きく3つの部門があります。それぞれ専門性があり、互いに補完し合っています。

理学療法士には先んじて認定制度というものがあり、資格を取った後に自分の専門性を担保するために当院では取得を推奨しています。2021年度の試験において16名全員が合格をしました。全国の平均としては8%程度ですが、今回の合格により 20⇒44%と認定取得者の割合が全国平均と比較してさらに増加しました。

認定理学療法士の試験に臨むには、まず複数年の臨床経験と研修会等への参加、学会発表などを経験し受験資格を得る必要があります。そしてその過程で臨床や社会人として必要な知識を多く勉強したり経験していきます。試験の内容は、知識のみではなく臨床で経験した10例の症例レポートを提出し合格点を取る必要があります。

資格を取ることが目的ではなく、それを日々の仕事にいかしていくことが大切なことです。とは言え、16名全員合格という喜ばしい結果となりました。

これからも花川病院リハビリテーション部は、皆様の期待に応えられるよう一致団結して精進していきます。



（理学療法士　まえだ）

第２４回石狩リハビリテーション地域連携懇話会

5月26日第24回石狩リハビリテーション地域連携懇話会を開催しました。今回は当院副理事長の生駒　一憲先生に「高次脳機能障がい者の社会復帰」について講演いただきました。今回の講演で「見えない障害」と言われている高次脳機能障がいの原因、主な症状と対処方法、活用できる制度や社会資源について大変わかりやすく勉強になる内容でした。当院回復期リハビリテーション病棟においても、脳血管疾患や交通事故・仕事中の事故等が原因で、高次脳機能障がいを抱える患者様が入院されてきます。患者様の退院後の生活を支える精神保健福祉手帳、成年後見制度、障害年金、就労支援等、日々の実践に繋がる内容を振り返ることができ、大変有意義な時間となりました。特に「高次脳機能障がい者の就労支援での注意点」で挙げられていた、

・見ただけではわからない、少し話しをしただけではわからない。
・能力低下がまばらである、低下していない機能もある。
・一つのことができても、同種の他のことができるとは限らない。
・できる場合でも、量が多くなるとできない、環境が変わるとできない。

コロナで外出訓練や家族、職場の方との交流が限られている中、日々の実践でチーム内のスタッフで話し合い、退院後の実際の生活状況を見据え、住み慣れた地域での暮らしがより良いものになるようしっかり支援していきたいと改めて実感しました。オンラインならではの道外遠くは沖縄からも参加いただき、332名の医療機関、事業所の皆様と大変有意義な時間を過ごすことができました。たくさんの方々に参加いただき誠にありがとうございました。

次回は10月12日（水）18時30分より北海道大学病院リハビリテーション科教授　向野　雅彦先生による「リハビリテーションにおける機能評価手法の革新に向けて」と題しまして講演開催を予定しております。詳しくはホームページ等でお知らせ致しますので、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

（MSW　とみい）

総務課の仕事・職員のご紹介

総務課は、事務部門の心得の「正確・迅速な事務処理」「医療職が働きやすい環境づくり」「心を豊かにするサポートの実施」のいずれも密接に関わっている部署であり、質の高い医療の提供と病院の運営を裏側から支える部署です。
総務課の仕事内容は「その他の部署では扱わないが、法人にとって必要不可欠な業務の全て」であり、非常に広範囲な業務に携わります。
主に健育会グループ事務部門の大きな役割である医療職のサポート業務の他、全社的コミュニケーションの橋渡し役や全社的活動の推進の業務が挙げられ、取り扱う業務は多岐にわたります。そのため、現場に積極的に出向き、法人内のあらゆる部署・職種と連携を取りながら日々業務にあたっており、院内で働いている職種の方と協働していくことが求められます。医療専門職のように直接患者様に対応することは少ないですが、「医療職のサポート」を担う部署としては現場との距離が最も近い部署であると考えます。医療に携わる現場の職員の目線に立ち、より職員が働きやすい環境作りのため日々精進したいと思います。現在総務課は５名おり、今回は２名の職員を紹介します。

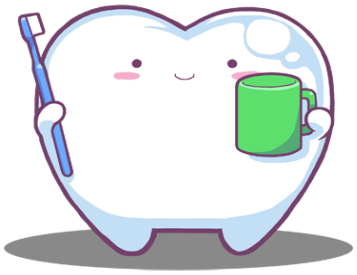
初めまして。2021 年２月から入職しました総務課の髙橋広大と申します。初めての就職ということでとても緊張していましたが、先輩方に助けていただきながら、日々仕事に取り組んでおります。まだ慣れない仕事ばかりですが、どんどん仕事を覚え、病棟やリハビリに少しでもいい環境で仕事をしてもらえるよう努めていきたいと思います。

初めまして。2021 年９月より総務課に入職しました冨山正将と申します。これまでは IT 業界におり、主にインフラに関するシステム開発を行っておりました。現在は総務の他に病院を含む関連施設全体のシステム管理全般も担当しております。医療現場のシステムの保守業務は未経験でしたが、今まで開発側の人間として培ってきたノウハウをいかし、日々業務に勤しんでおります。総務業務及び医療現場のシステム担当として働くことは初めてですが、自分にできることを確実にこなし医療現場の第一線で活躍されているスタッフを積極的にサポートしていけるよう努めて参りますのでよろしくお願いします。

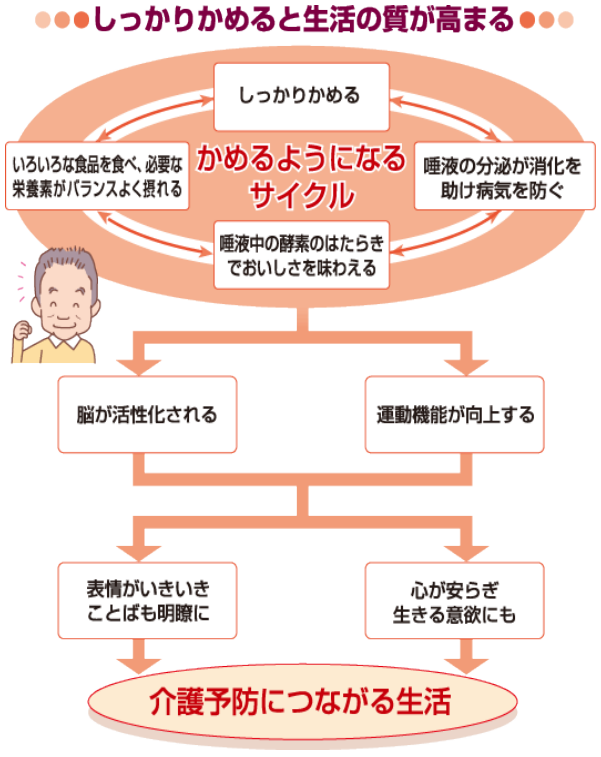
（総務課　たかはし）

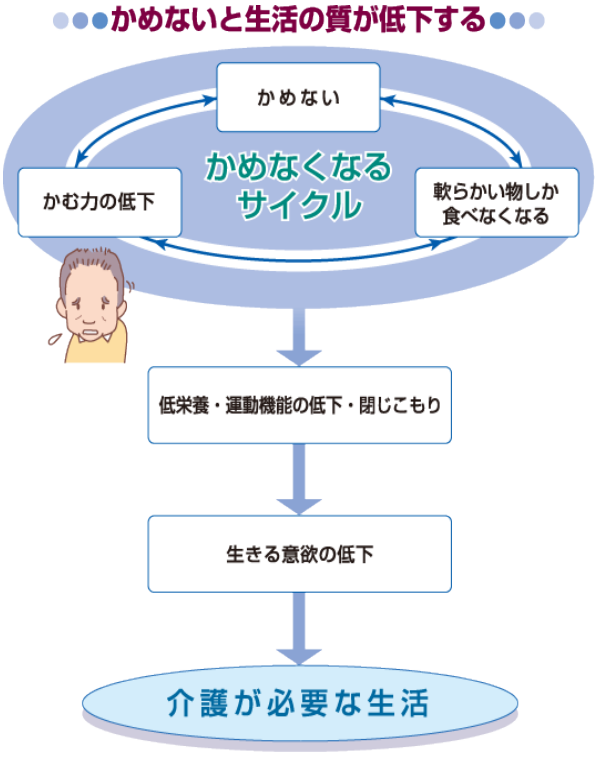
お口で食べることは大事

食べる事が何より
いちばんの楽しみ



日常生活における楽しみは何ですかと、高齢者に問いかけると？『食事』という答えが多くきかれます。毎日を**いきいき過ごす**ためにはお口の機能の維持管理が大切です。





いつまでも自分の口からお食事を

歯医者さんで**定期健診**をしましょう。入れ歯に**物が入る**、最近食事中**ムセ**てしまう。口が**渇いて**しまう。など何か**小さな変化**があれば、迷わず歯医者さんへ行きましょう。

（歯科　にしだ）

ボランティア活動・健康教室はじめました

ボランティア活動

コロナウィルスの流行により当院でのボランティア活動を休止し石狩市社会福祉協議会ボランティアセンターでのみ活動をお願いしておりましたが、令和４年６月よりはなリビング（旧ふれあいクリニック）にてボランティア活動の受け入れを行うこととなりました。

検温、手指消毒、健康観察などの感染対策にも皆様進んで協力くださりスムーズに作業が進められていきます。病棟での余暇活動『ペーパークラフト』で患者様が作成していく下準備を行っていただきました。紙皿を指定の大きさに切り取る、絵の具を塗る等あっという間に仕上がっていきます。コロナウィルス流行後は職員が準備しておりましたが今後も地域の皆様に活躍していただける場になるよう活動を継続していきたいと思います。

健康教室

7 月 12 日はなリビング（旧ふれあいクリニック）にて「健康教室」を開催しました。以前は当院 1 階ロビーにて行っておりましたが、残念ながらコロナウィルスの蔓延でしばらく中止になっていました。しかし今年度から場所を変え定員を設けて開催をすることになりました。

今回は夏の時期にピッタリの「夏に気をつけたい病気とその予防」と題しまして熱中症と食中毒について当院の保健師池田よりお話をさせていただきました。当日は 4 名の参加があり皆様熱心にお話を聞いていました。参加者からは「テレビ等でよく聞く話題だけど改めてじっくり話を聞くと、わからないことや知らないことが多かったので参考になった」と大変好評でした。これからも健康に関する情報をお届けしていきたいと思います。今後の開催日時、内容につきましてはホームページに掲載致しますのでご覧ください！！

（地域連携相談センター）

新入職員紹介

初めまして、2022 年 4 月より 2 階回復期リハビリテーション病棟へ MSW として入職いたしました源通英将（げんつうひでまさ）と申します。前職は精神科病院で事務職及び相談業務を担当しておりました。

精神科病院以外での医療機関は初めての勤務になりますが、新たな経験や発見ができることが楽しみであり、早く相談業務や退院調整等で皆様のお役に立てるように尽力したいと考えております。趣味はスポーツ観戦やドライブ、海釣りに行くことですが、コロナ禍ということもあり最近は公園や近所を散歩して過ごしております。先輩方に助言をいただきながら少しでも良い支援ができるように努力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

（MSW　げんつう）

編集後記

9 月といえば･･･食欲の秋、芸術の秋、皆様はどんな秋をお過ごしでしょうか？今年は夏バテするほどの暑さにもならなかったような気もしますが･･･

さて当院では 7 月には夏祭りを、そして敬老の日には行事を開催する等、感染対策を徹底し患者様に季節を楽しんでいただけるよう努めております。コロナ渦で、大切なご家族との時間がなかなか作れない状況において、いかに楽しく過ごしていただくか、それを家族の皆様とどのように共有するか非常に大切なことと思っております。写真やメール、電話や面会等できる限り対応し、引き続き職員一同、持ち込まない・広げないを目標に安心して過ごしていただけますよう取り組んで参ります。